

皮膚科の診療体制について

平成23年1月より皮膚科は常勤医師体制となりました

新任医師紹介



皮膚科医長 **和久本 圭子**

雲南の皆様のお役に立てる様、微力ではありますが、頑張りたいと思います。
皆様に喜んでもらえる診療が出来たらと思います。



月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
診察日	診察日	診察日	診察日	×

☆ 外来診察は午前のみであります。（一部予約制）

どこの科にかかればいいのか分からない？そんなときに！ 「地域総合診療科」を開設しました

地域総合診療科について

医師不足、専門医不足のため、地域の皆様方には日々ご迷惑をおかけいたしておりますが、当院では患者様ひとりひとりの必要度に応じた基本的な医療を、院内外の各専門診療科と連携をしながら提供することを目指しており、このたびその様な診療科を問わない基本的治療（診療）を行う部門として地域総合診療科を設けました。

地域総合診療科では、専門診療科宛の紹介状を持たない成人の初診患者様で、どの科を受診していいかわからない方を担当し、必要に応じて院内専門各科や時には他施設に相談・紹介致します。軽症の場合は、患者様や専門各科と相談して、かかりつけ医に紹介させていただいたり、引き続き地域総合診療科外来で診療を継続させて頂くこともあります。また、現在医師を志す若者の間では、以前よりある専門医志向の一方で、広い分野を総合的に診ることのできる総合医、家庭医という医師象を目指す傾向がでてきております。

地域総合診療科では、そのような診療を担うことのできる医療者を養成して、地域医療に貢献できる人材を育成へすることも目指しています。

具体的には、以下のような患者さんを診療します。

- ・診断がついていない ・急性で軽症（かぜ症候群、軽度の腹痛など）
- ・いろいろな病気が複雑に絡み合っているようだ
- ・健診で異常が出たがどの科に行けばよいかわからない
- ・他院、他科で診断がつかない

どうぞお気軽にご相談ください。

病院長新年のあいさつ



公立雲南総合病院
院長 **松井 譲**

新年明けましておめでとうございます。

皆様方にはご健勝で新年をお迎えになられた事とお慶び申し上げます。

まず本年は四月一日より「雲南市立病院」として新たなスタートとなります。顧みますに昭和二十三年三月一日に開院いたし、昭和三十六年四月一日より大東町外九ヶ町村の自治体の総合病院となりました。半世紀、この間のご支援に厚くお礼申し上げますと共に、単独のスタートとなりますが、一層の病診連携、病病連携が必要とされるところであり雲南医療圏の中核病院として医療充実に努めて参りますのでよろしくお願い申し上げます。

さて、就任時に大きな方針として現在のケアミックスの病院形態を維持することを基本方針としておりましたが、この維持充実のためにはマンパワーの維持確保が必要であり、二十一年度設置した「地域医療人育成センター」では島大医学生の実習受入れを二十二年度には二十四名、研修期間は異なりますが初期研修に二十二年度中には十名の研修医に来ていただいております。後期研修、就職につながればと考えます。また昨年十二月には「地域総合診療科」を立ち上げ、当面は外科系の医師が行う総合診療科で救急診療など対応いたしますが、総合診療を学ぶなら雲南病院と言われ選んでいただく体制を今から構築していこうと考えています。地域医療は依然として厳しい状況であり、昨年四月より院長を拝命して九ヶ月、東奔西走の日々でありました。このような中、職員スタッフが力強く支えてくれました。ことに大変感謝しております。職員一同住民の皆様のご期待に応えるよう、更なる努力をして参ります。皆様方の更なるご支援をお願い申し上げます。にご多幸を祈念し新年のご挨拶と致します。